

札幌 市民防災

第18号

平成30年3月31日
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畑 隆二

平成29年度 札幌市防災表彰式 札幌市 自主防災講演会

平成30年1月16日（火）午後2時30分から、中央区ホテルモントレエーデルホフ札幌において「平成29年度札幌市防災表彰式」が秋元克広市長出席のもとに、10団体の代表にそれぞれ表彰状が授与されました、市長から日頃より地域における自主防災活動に熱心に取り組まれている皆様を表彰させていただきました、この表彰式は平成11年から始めており今年で204団体が受賞され、皆様の防災に対する熱意に心から感謝申し上げます。とねぎらいのお言葉を戴きました。

引き続き「自主防災講演会」が同ホテルで開催されましたが、この講演会は例年札幌市と当連合会が共催で行われているもので、当会の渡辺恵美子副会長の進行により午後3時から開会されました。

講演に先立ち、当会の田畑隆二会長から、本会は平成17年度の表彰式後に受賞団体の皆さんと今後も情報を交換し合い、地域の防災力を高めましょうと「札幌市民防災団体連合会」を立ち上げ、今日の講演会も札幌市と共催で実施しています。

本日のテーマは、『防災をもっと身近に、もっと楽しく』と題して、講師はその普及に取り組んでいる「NPO法人プラス・アーツ理事長」永田宏和氏です。今後の活動に活かしてくださいとの挨拶で開講されました。

平成29年度 札幌市防災表彰式

受賞団体出席者

中央区	一般社団法人西創成親和会	松野 哲也 様
北区	篠路連合町内会	伊藤 英夫 様
東区	丘珠連合町内会	富樫 喜昭 様
白石区	白石東地区町内会連合会	板垣 俊夫 様
厚別区	厚別東町内会連合会	中川 喜久雄 様
豊平区	月寒少年消防クラブ	今藤 亜矢子 様
清田区	平岡公園町内会	安藤 英夫 様
南区	石山丘晴町内会	五十嵐 敏明 様
西区	八軒まちづくり協議会	山本 喜章 様
手稲区	新陵東小学校避難所運営委員会	渡邊 悦子 様





地域防災力の向上を目指して

札幌市民防災団体連合会 会長 田畑 隆二

会員の皆様におかれましては、日頃より当会の運営にご協力を頂き誠に感謝申し上げます。昨年を振り返りますと、国内におきまして台風や集中豪雨等により多くの大災害が発生し、近年は地震だけではなく風水害に対する防災対策が重要と成ってまいりました。

この現状を踏まえ、当会も昨年10月16日に札幌市危機管理対策室が主催された「地区防災計画セミナー」のご案内頂き、会員皆様にご案内致しましたところ多くの会員の皆様にご出席頂きました。

「地区防災計画」とは東日本大震災の発生に伴い、平成25年に国の災害対策基本法が改正され「地区防災計画制度」が創設されました。札幌市も地域防災力の向上と普及・啓発、理解と促進を図る為、平成29年度より二か所の地域で取り組みを開始しました。

この地区防災計画の推進は防災だけではなく、町内会活動の中で地域コミュニティの維持・活性化や新たな担い手の育成に大いに役立つと思われまふ。

「地域として取り組みたいことを地域自ら決めて、具体化する」事が地域防災力の向上に繋がると思っています。

その他、今年1月16日に札幌市危機管理対策室と共催で開催の防災セミナーでは、NPO法人プラス・アーツ理事長 永田 宏和 氏をお迎えし「防災をもっと身近に、もっと楽しく～学びあう防災、イザ！カエルキャラバン！とは～」をテーマにご講演を頂きました。

小学校児童を対象に、ゲームをしながら楽しみながら防災知識を学ぶ「防災教育」で、現在は全国的に広がっています。この防災活動も当会会員の皆様と力を合わせ各地区に広めて行きたいと考えています。

当会としても、今後札幌市危機管理対策室との連携を更に深め、会員皆様の地域が安全で安心して暮らせるまちづくりが出来ます様活動して参ります。

又、広報紙による会員皆様の防災活動の紹介や各種の情報の提供にも力を入れて行きたいと考えております。これからも会員皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。



「防災マニュアル」を配布、年2回の防災訓練

平岡公園町内会 会長 安藤 英夫

震災への備えは十分ですか――

そんな問いかけから、平岡公園町内会に自主防災組織を立ち上げたのは平成12年4月のことです。札幌市から防災資機材2セットが支給され、「地域のことは地域で守る」の意識を持って自主防災の活動を開始しました。

町内会の防災部長が防災リーダーとなり、年2回の班長会議の際、防災研修を実施しています。これは清田消防署消防士の指導による避難訓練、救命措置、AED訓練などを1時間程度行うものです。

平成24年には町内会独自に「防災マニュアル」を作成し、約900世帯へ全戸配布しました。翌25年からは災害用食品・飲料を購入し、町内会館に備蓄しています。30人3日分をめどに適宜入れ替えます。

また、夏休みや歳末の時期に防犯・防災パトロールを実施しています。

防災、特に震災への事前の備えとして、各家庭にあって防災グッズの準備や飲食品の備蓄など「自助」が重要と呼びかけています。さらに、近隣の安否確認、火災の消火活動など災害時に想定される「共助」のため、福祉厚生部所管の「見守り・声かけ活動」と連動した地域の助け合い運動を継続しています。

最後に、この度の札幌市防災表彰の受賞、大変ありがとうございました。



清田消防署の担当でAEDを使っでの防災訓練などを行っている (2017・9・24)

地域の防災リーダーを育てる

月寒少年消防クラブ 今藤 亜矢子

私たち月寒少年消防クラブは日頃から、消防署の方々のご協力で防火・防災に関することを学び、地域の行事にも参加することによって地域とのコミュニケーションを学び、将来の防災リーダーを育成することを目的として活動しています。その活動の一つとして、5年前から『小学校のぼうさ

い探検隊マップ』を作成しています。

ぼうさいマップの作成で子どもたちは、地域を歩いて避難場所やAEDや消火栓などの位置を確認し、公共交通機関や老人施設や区役所などへ赴いて災害への備えや災害後の対応について取材をしています。それにより、小学校の避難訓練だけでは到底学ぶことの出来ない自助・共助・公助についてマップの作成を通して自然と学んでいます。札幌は大規模災害の起こらない安全な都市のように感じてしまいがちですが、地下にはおそらく断層もあり大きな河川もあり、100%安全とは言い切れません。世の中では近年いくつもの『想定外・史上初』などの災害が起こっています。札幌もいつそのような災害に見舞われるかわかりません。そのため備えとして物の備え・心の備えの他に、人の備えが必要と考え、地域の防災リーダーを育てるべく、指導者一同これからも子どもたちに指導してまいりたいと思っています。



消火訓練の体験



安心安全な地区づくりを目指して

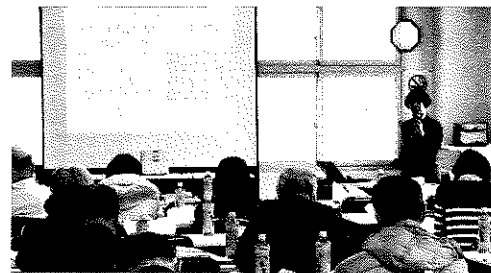
一般社団法人 西創成親和会 理事長 **松野 哲也**

近年、災害が大規模化・多様化し、日本各地で大地震、火山噴火や大雨による災害が頻発しているなか、地区内に薄野という大繁華街の一部を持つ、西創成地区では、全国的に進む少子高齢化はもとより、若い世代を中心とした人口の流出が激しく、人と人とのつながりが希薄化することにより、地域コミュニティの弱体化が進むなど、災害によるリスクが高まりつつあります。

このような中、15ある単位町内会で構成する、私ども西創成親和会では、地区の防災力向上を効果的に図り、災害による被害をできるだけ少なくするため、札幌市のモデル事業として「西創成地区防災計画」の策定を進めてまいりました。

昨年3月の「熊本地震の避難所運営に学ぶ」をテーマとした山口大学大学院の村上ひとみ先生による研修会から始まり、策定作業では、三重大学の川口 淳先生の講演をいただきながらのワールドカフェ方式による防災座談会など5回のワークショップを実施、また、避難所運営について西創成地区住民の基幹避難所である、資生館小学校と中島中学校のそれぞれにおいて避難所運営訓練HUGを含めた検討会を2回ずつ実施し、それぞれの避難所運営マニュアルを作成するなど、各町内会の積極的な参画により、この度「西創成地区防災計画」の案を作ることができました。

今後は、この計画に基づく防災訓練を実施するなど、地区住民と事業者が連携しながら防災活動に取り組み、本計画の検証・見直しを行い、その活動のなかで、人と人との繋がり、地区住民と事業者などとの繋がりを深めることで、より一層安心安全な地区づくりを目指してまいります。



29.3.23 研修会
「熊本地震の避難所運営に学ぶ」



避難所運営マニュアルの完成

新陵東小学校避難所運営委員会 会長 **佐々木 英明**

新陵東小学校避難所運営委員会は新発寒地区まちづくり委員会に属しています。このまちづくり委員会では、平成19年から地域の安全安心をテーマに高齢者や子ども達の見守りから始まり、様々な活動を続けてきました。

平成23年の東日本大震災を契機に、今は防災に力を入れて活動しており、これまで、防災のワークショップや図上訓練(DIG)、地域の防災マップの作成等を行ってきました。これらの活動の中から、自分達が避難する基幹避難所(地域の小中学校)に、避難所運営マニュアルが必要であるという結論になり、平成28年に、最初のマニュアルとして新陵東小学校の避難所運営マニュアルを作成することになりました。参加者は、小学校に隣接する町内会の役員や区役所の職員、学校職員など、3つの連合町内会の垣根を越えて話し合いが持たれました。そして、HUGや意見交換を経て、参加者の意見を盛り込んだ、地域独特のマニュアルを完成させました。また、今回の表彰をいただいた2日後には、実際にマニュアルに基づく「避難所開設体験会」を実施することができました。今後も地域内の全小中学校のマニュアルを作成する予定で活動しており、今年3月には2校目となる新陵小学校のマニュアルが完成するとともに、新陵小学校避難所運営委員会を立ち上げる計画です。マニュアルの作成だけでなく、それぞれの運営委員会が独自で避難所開設体験会や研修、マニュアルの更新等を継続して行うことで、新発寒地区の安全安心と高い防災意識を持続させていきたいと考えています。



H28.11.22 HUG実施時の様子

平成29年度 札幌市防災会議

平成30年2月22日(木)、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて、秋元札幌市長を議長とする「平成29年度札幌市防災会議」が開催されました。

議案では、新たに地域の防災活動の活性化が期待できる「地区防災計画」の導入について審議され、平成29年度モデル地区となった中央区の連合町内会「一般社団法人西創成新和会」と、白石区の単位町内会「北郷親栄第一町内会」の地区防災計画が札幌市地域防災計画(地震災害対策編)に規定されることになりました。

地区防災計画の作成に取り組む「過程」とその取組の「継続」によって、地域コミュニティにおける平時からの顔の見える関係が強化され、地域の防災力や災害対応力の向上に加え、地域内でのコミュニケーションの活性化などが図られることで、まちづくりへの波及も期待されています。

札幌市危機管理対策室は、今後数年間、モデル地区事業として支援を継続し、段階的に計画の充実を図り、地域の課題解決の一助として、地区防災計画の作成を推進していくことで、防災協働社会を実現していきます。



平成29年度 札幌市防災教育推進セミナー

平成30年1月9日(火)、札幌コンベンションセンターにおいて、札幌市危機管理対策室主催の「平成29年度札幌市防災教育推進セミナー」が開催されました。

本セミナーは、より一層防災教育を推進することによって、地域防災力の底上げ、将来の担い手育成が期待でき、最前線に立つ教職員を対象に、防災教育に対する理解促進を図ることを目的に実施されました。

(プログラム)

第1部 「札幌市はサッポロカイギュウが棲んでいた海の底だった」

講師：札幌市博物館活動センター学芸員 古沢 仁氏

第2部 「災害多発期を生き抜くために必要な防災教育とは

～防災教育に取り組んできた地震学者から未来を担う子ども達へのメッセージ～

講師：一般社団法人防災教育普及協会 会長

東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授 平田 直氏

第3部 「札幌市防災教育パネルディスカッション」

進行：北海道大学大学院理学研究院

付属地震火山研究観測センター長・教授 谷岡 勇市郎氏

パネリスト：

- ・一般社団法人防災教育普及協会会長 平田 直氏
- ・北海道教育大学教育学部札幌校生活創造教育専攻教授 佐々木 貴子氏
- ・札幌市博物館活動センター学芸員 古沢 仁氏



1月9日 セミナー

編 集 後 記

今年度当所は雪少なくおだやかな年かと思いましたが、3月に入り大変な大雪と成り交通もみだれ、連合会会員の皆様も対応に大変だったことと存じます。広報誌は皆様の情報交換の場ですので、是非ご利用して下さい。

今回私、札幌市防災会議委員に選出されましたので微力ですが皆様のパイプ役に成れと思いますので宜しくお願いします。

尚5月には当連合会の総会を予定してますので多くの方ご出席お待ちしております。又、近隣町内会で連合会にご加入していないところについて、おさそいして下さいますようお願いいたします。

広報部長 渡辺 恵美子 (851-9583 TEL・FAX)

印刷所 北晃社 斎加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271